



リレーの作戦会議中

令和 8 年度の運動会。4・5 歳児が考えたテーマは
すきすきみつけ にこわくうんどukai です。

日頃から自分の興味・関心、魅力的なものを追いかける生き生きとした田上 KIDS たち。

運動会で「主体的」「協働的」に探求し、充実感と満足感を積み重ねて、彼らが成長するきっかけになることを願っています。



大津市立田上幼稚園

令和 8 年 10 月 13 日

保育主任通信 松尾 誠史

page_38



これまで、運動会について職員で話し合ってきました。一番大切にしたいのは「やってみたい」という子どもの“意欲”。そして期待したい彼らの“未来”。令和 8 年度の「8」を横にすると「∞（無限大）」。そこで職員テーマを

「やってみたい☆子どもの未来☆無限大∞」

としました。このテーマのきっかけは運動会ではありますが、我々は他の活動にも通じるものと思っています。また、運動会は一人一人のこれまでが生かされ、これからがますます豊かになるための「通過点」であると考えています。

そのために子どもをまんやかに据えて「面白い」「楽しかった」という思い出となるように職員 8 名各々が関わらせていただきます。

各クラスの学級通信でも、運動会の取り組みについてお伝えいたします。こちらでも、全体（全学年・合同種目）での活動のみどころを簡単に紹介させていただきます。

かけっこ

今年は 3・4 歳児だけでなく、5 歳児も先陣を切って走ります。雲のトンネルをくぐったり、跳び越えたりしてエネルギーを全開にチャージして築山の頂上を目指します。

（これまでの「走る」に、「くぐる」「跳び越える」「登る」「降りる」という運動の要素を加えています。少しの抵抗感が、心地よい達成感につながります。）



運動遊び

3・4 歳児は 2 学期から虹の妖精との出会いがありました。そんなファンタジーの世界の中で、よじ登ったり、バランスをとって渡ったり、様々な体の動きをして楽しむことができました。

1 学期から色々な遊具を中心に関わってきた 5 歳児は、2 学期に入ってから自分でコツコツ取り組んだり、友達と工夫したり考えたりすることを繰り返してきました。一人一人が、一皮むけて成長した「以前の私から生まれ変わった私」です。

リズム

3・4 歳児と一緒に取り組むリズム、全学年でのバルーン、5 歳児のリズムをメドレーで行います。それぞれの可愛さや精悍さにご注目ください。



玉投げ遊び

今、子どもの「投げる力」の低下は全国的な課題となっています。

園では「楽しみながら」「夢中になって」「繰り返して何度も」投げる経験をしてほしいという願いから、新種目を企画しました。流れ星（新聞ボール）を無限にポイポイ投げ合います。空を埋め尽くす虹の流星の絶景をお楽しみください。

リレー

今年度は4・5歳児でチームを作り、取り組んできました。取組当初は、バトンをもらう時にチームが負けていると、コースを外れて土手まで走っていったりリレーが中断したことも懐かしい思い出です。みんな、走りも気持ちも強くなってきています。明日も素敵な姿を見せてほしいですね。



今年度はこれまでの運動会の形にとらわれず、プログラムや取り組み方のアップデートを行っています。

「少人数の学級だからこそ、一人一人にスポットが当たるように…」

「“待ち時間”を減らし、運動量を上げ、みんなが何度も主役になれる」そんな運動会を目指しています。

全学年の運動遊びについて

実は小学校1・2年生の体育の学習指導要領にはあらゆる活動が、「〇〇遊び」と記されています。3年生以降に、「器械運動」「陸上運動」等の競技へとステップアップしていきます。つまり、跳び箱の開脚跳びや鉄棒の逆上がりが求められるのは小学校3年生というわけです。



では幼稚園においては何を大切にしたいか。それは、「体を動かすことが楽しい」「好きだ!」と一人一人に感じてもらうことです。その原体験を十分に保障することが、生涯にわたって運動に親しむ基礎になると考えています。もちろん、勝敗や技術も大切ですし、「できた・できない」もモチベーションにつながります。ただ、誰かと比較し、結果にフォーカスするばかりではなく、本人が充足感や歓びをたくさん積み上げられるように、プロセスや意識や工夫や意欲や存在を認め、一人一人の心に響く言葉掛けや関わりを私たちは心掛けています。



小学校の鉄棒、めっちゃ高いやん！

抱っこしてもらって、やっとつかめる高さ☆

田上幼稚園から歩いて小学校までおでかけ。田上保育園の友達と一緒に、田上小学校の校庭で遊ばせてもらいました。そして、5・6年生のかっこいい姿に憧れる僕たち。やっぱり小学生のみんなはスゴイわ！



大津市立田上幼稚園

令和8年 10月 8日

保育主任通信 松尾 誠史

page_37



保育園12人とのリレー対決☆も幼と保のMixチームでの対決☆も小学校で走って、楽しかったね。



いえーい。ありがとう！また遊ぼう！

速かったやん。っていうか、僕ら、靴のマーク似てるなあ！



またいつか、このグラウンドで一緒に走る日が来るんだろうな。そんなきっかけの一つに、小学校の見学ができたことをうれしく思っています。

5・6年生のお兄さん・お姉さんたちに あこがれながら やってみました



こんな感じ？

見よう見まねでやってみました。さて、何点いただけますか？



これでしょ？

こうでしょ？



足をまっすぐ上？難しい！



え？なに？どうすんの？



やはり、体の使い方、体幹、筋力、姿勢、表現力、俊敏な移動、仲間との息の合わせ方など、5・6年生はすごくかっこよかったです。

先生、もうね、手がね、見て。跡がつくくらいすごく痛いの。

さっき、小学校の先生が、本番は裸足でやるって言ってはったで。

えー！！
すごすぎるでしょ...



こうですか？
あってる？



ほくの新しい相棒👤

園庭でダンスをしている 5 歳児を、そばで子どもたちと応援していました。さて、踊るひとりの目線に、お気づきになりますか？



大津市立田上幼稚園

令和 8 年 9 月 30 日

保育主任通信 松尾 誠史

page_36



そうなんです。おひさまがつくりだす「自らの影」を見ながら、しなやかに体を動かしているのです。



自分の手足の動きや、躍動感をそのまま映し出してくれる影。
鏡になるようなその面白さに、改めて気付いた瞬間でしょうか。



あれ？なんだか手をつないでいるみたい？

自分が手を挙げて、跳んでも、首をかしげても、100%リアルタイムで地面に投影される面白さに完全に心を奪われている一瞬。ある意味、パーフェクトな自己確認の手段だったに違いありません。

また、これをきっかけに、ダンスにより“意欲的”“主体的”に参加していたのでしょう。“影と踊るのも楽しいじゃん”“影にも上手に踊ってほしい”と自分なりの動機が生まれていた数分だったのかもしれませんが。

キメポーズはみんなに向けて★





秋っぽくなってきた🎃

畑にとっても大きいかぼちゃができたんだって！来てみて持ってみたけど、すごく重い！とんでもない大きさです

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園

令和8年9月29日

保育主任通信 松尾 誠史

page_35



つかみどころのない形は、転がして持っていくしかないようです。そんな折、写真にはありませんが、1人の3歳児は砂場用の一輪車で運ぶのでした◎



4月から毎日続けている朝のマラソンとダンスの数十分(のびのびタイム)。今日はダンスの後に、築山までかけっこ。そしてジャングルジムに3学年で登って職員室に向かって全力の「ヤッホー！！」



もうおだんご食べてもいいーい？

今日はお月見の日。乾いた園庭に水を運び、たくさん月見団子をこしらえました。すすき(のような細長い草)を立て飾り、友達や先生と一緒に楽しむ月見ごっこ。今晚の月もきれいにみられるといいですね。



廊下の一角には秋の味覚の折り紙。実は、田上幼稚園には、折り紙名人のスタッフがいるのです。



天高く馬肥ゆる秋



いっせーの一で！

声を掛け合いながら鉄棒に飛びつき、タイミングを合わせて回ったりしています。

友達と一緒に楽しいんだよね♪

Peppie's Pages



大津市立田上幼稚園

令和8年9月28日

保育主任通信 松尾 誠史

page_34

向きを変えてみたり、並びを変えてみたり、フォーメーションや技の名前も考えながら、繰り返し取り組んでいました。一人でコツコツ高めていくのも達成感や充実感があるものです。それにこうして、

- ・友達（仲間）と呼吸を合わせたり、
- ・工夫を考えて伝えあったり、
- ・お互いのよさに気付いたり することもいいですね。

これから、この鉄棒トリオにメンバーが増えたり、新しい刺激を与え合える何かがあったり、友達の輪が広がっていくといいなと願っています。



♪どんな色になる？



なすびの色、ムラサキっていうか、ほとんど黒いね。

たなかみ太鼓でみんなが締めるハチマキを、園の畑でとれたナスビの煮汁で草木染めをしている5歳児たち。（興味津々の4歳児も覗きにきています。）

一人一人が自分でビー玉や輪ゴムで模様をつけた布を入れていきます。濃いムラサキの煮汁に“ミョウバン”を入れたものと、“クエン酸”を入れたものでは、仕上がりの色が違うそうです。

さて、どんな色や模様になったのでしょうか…。



おさかなさーん、おーい！

全園児でバスに乗って琵琶湖博物館まで出かけた園外保育。
たくさんの魚たちや、さまざまな生き物たちに目を奪われます。

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和8年9月25日
保育主任通信 松尾 誠史
page_33



初めて来る人も、1回来たことある人も、何度も訪れている人も、やはりこの水槽は大好きになるのでしょうか。周囲の方に少々ご迷惑をおかけしながら、子どもたちはしばらく立ち止まって魚を眺めていました。

まるで湖の中の世界に招かれたような空間でした。

琵琶湖の宝物がたくさん詰まった博物館に、またよかったら、ご家族でもお出掛けしてみてくださいね。

見たことない魚も
いっぱいいるわー。

ごつごつしてる。
触ってみて！



おにぎりを食べた後も、すぐ再入場！時間たっぷり“びわはく”を堪能しました。早めの登園へのご協力もありがとうございました！



外のミスト
シャワーも
気持ちよかったです！

